

習志野市教育委員会会議録  
(平成20年第6回定例会)

- 1 期 日 平成20年6月25日(水)  
習志野市教育委員会事務局大会議室  
開会時刻 午後3時00分  
閉会時刻 午後3時40分
- 2 出席委員 委 員 長 小 泉 俊 雄  
委 員 青 木 克 己  
委 員 澤 村 洋 子  
委 員 栗 原 伸 夫  
委 員 植 松 榮 人
- 3 出席職員 教育総務部長 平 賀 潤  
学校教育部長 三 幣 芳 夫  
生涯学習部長 小 林 伸 二  
学校教育部参事 鶴 岡 智  
学校教育部参事 渡 辺 伸 治  
教育総務部次長 加 藤 清 一  
生涯学習部次長 松 林 正 則  
教育総務部副技監 鈴 木 知 行  
教育総務部・学校教育部副参事 野 中 良 範  
教育総務部・学校教育部副技監 勝 見 博  
学校教育部副参事 諏 訪 晴 信  
学校教育部副参事 押 田 俊 介  
生涯学習部副参事 黒 崎 清  
企画管理課長 井 澤 元 行  
指導課長 若 崎 光 美  
社会教育課長 早 瀬 登 美 雄  
生涯スポーツ課長 鈴 木 善 博  
青少年課長 長 谷 川 隆  
教育総務部主幹 福 山 宗 起  
教育総務部主幹 佐々木 重 春  
教育総務部主幹 宮 崎 雅 博  
教育総務部・学校教育部主幹 鈴 木 博  
学校教育部主幹 高 柳 英 昭  
学校教育部主幹 櫻 井 克 美  
生涯学習部主幹 及 川 隆 志  
生涯学習部主幹 寄 主 義 之

#### 4 会議内容

委員長が

平成20年習志野市教育委員会第6回定例会の開会を宣言

委員長が

会議規則第15条の規定により、議案第21号を非公開とすることについて諮り、全員異議なく非公開と決定された。

委員長が

本日の日程について諮り、議案第21号を協議事項の後に審議することについて諮り、全員異議なく提案どおり決定された。

委員長が

平成20年第5回定例会の会議録について承認を求め、全員異議なく承認された。

#### 報告事項(1) 平成20年度学校基本調査の結果について

(企画管理課)

企画管理課長が

学校基本調査は、文部科学省が全国の幼稚園から大学までの全ての学校を対象に、学校教育に係る基本事項について、5月1日を基準日として毎年1回実施しており、その結果は年次の推移を追った教育計画立案の際に活用されるなど、教育行政上の基礎資料となっている。

園児数は、市内14幼稚園の園児と東習志野こども園の短時間児を合わせ、55クラス、1,286人で、昨年度より2クラス増加し、36人減少した。児童数は市内16小学校315クラス、9,241人で、6クラス、98人の増加、生徒数は中学校7校119クラス、3,855人で、5クラス、38人の増加、高等学校は32クラス、1,115人で、19人の減少となっている。

教職員数は幼稚園87人、小学校515人、中学校249人、習志野高等学校87人で、合計938人在籍しており、そのうち教諭数は、小学校376人で、前年度比3人の減少、中学校192人で、1人の増加である、と報告

委員が

小学校の児童数が98人増えているにもかかわらず、教員が3人減少している理由と園児が36人減少している中で、2クラス増加している理由を教えてください、と質問

学校教育部副参事が

小学校におけるクラス数増加の要因としては、特別支援学級の新設や通級者の増加により3クラス増加した。また、市全体として昨年度の卒業生よりも今年度の新入生が多く、小学校5校で小中学校における1クラスの基準である38人を超えたため、各校1学級ず

つ増加し、特別支援学級と通常学級を合わせ、合計8クラス増加した。しかし、児童が減少した香澄小、谷津南小で1クラスずつ減少したことにより、差し引き6クラスの増加となった。

教員については、学級増に伴い担任教諭が6人増加したが、非常勤講師、少人数加配教員、初任者研修指導教員、産育休代替講師が合計9人減少したため、差し引き3人の減となった、と回答

学校教育部主幹が

幼稚園については、東習志野こども園、屋敷幼稚園、袖ヶ浦西幼稚園等5園で園児が増加した一方、杉の子幼稚園、藤崎幼稚園、大久保東幼稚園、香澄幼稚園、実花幼稚園で園児が減少し、差し引き36人の減となったが、クラス数への影響はなかった。また、袖ヶ浦東幼稚園の年長児クラス及び袖ヶ浦西幼稚園の年少児クラスで、年度末時点で幼稚園の基準である35人を超える36人となっていたため、それぞれ1クラス増加したことにより、市全体として36人園児が減少したが、2クラス増加という結果になった、と回答

委員長が他に質疑なしと認め、報告事項(1)は了承された。

## 議案第20号 平成21年度習志野市立習志野高等学校第1学年入学者選抜要項の 制定について

(学校教育課)

学校教育部副参事が

習志野市立習志野高等学校管理規則第24条の規定により、平成21年度習志野市立習志野高等学校第1学年入学者の選抜方法について定めようとするものである。昨年度との変更点は以下の2点である。第1点目は、平成21年度千葉県公立高等学校入学者選抜実施要項の日程に合わせ、日にちや曜日を変更したこと。第2点目は、その他として、本要項に定められたこと以外は、平成21年度千葉県公立高等学校入学者選抜実施要項及び平成21年度千葉県公立高等学校入学者選抜実施細目に準ずるものとし、不明な点があれば学校教育課まで問い合わせること、と追記したことである、と概要を説明

委員が

中国等引揚者子女の特別入学者選抜や成人の特別入学者選抜に該当した受験者数は何人か。また、これらの選抜は特色ある入学者選抜枠の中で選抜が行われているが、これらの選抜が特色ある50%の入学者特別選抜枠にどの程度影響を与えているのか、と質問

学校教育部副参事が

中国等引揚者子女の特別入学者選抜はこれまでのところ該当がない。また、成人の特別入学者選抜については、定時制課程のみが選抜の対象であるが、平成20年度は普通科に4名、商業科に1名の計5名の入学者がいる、と回答

委員が

入学者の50%が特色ある入学者選抜で入学しているが、習志野高校の学力水準は上がっているのか、と質問

学校教育部副参事が

学力水準については、偏差値が廃止されたためお答えできないが、特色ある入学者選抜では、勉強だけではなく部活動等も含め、習志野高校が求める生徒を受検者の自己推薦に基づき選抜している、と回答

委員が

自己推薦は様々な問題を含んでいる。誰でも入学できる高校となってしまうと結果的に入学者が減少する危険性もあるので、十分留意願いたい、と要望

委員長が質疑なしと認め、採決の結果、議案第20号は全員賛成で原案どおり可決された。

協議第1号 次回教育委員会の期日について協議し、平成20年7月23日（水）午後3時に決定された。

その他

委員が

第3回校園長会議で携帯電話やインターネットによる被害の防止や利用する際の注意を青少年センターからのお知らせという形で通知しているが、どのくらい効果があるのか。文書を流すだけではなく、指導等の対応は出来ないか。また、各小・中学校における子ども達のネット犯罪の被害状況とその救済方法、指導内容等についてどのように徹底されているのかを教えていただきたい、と質問

青少年センター所長が

プロフへの書き込みをめぐるトラブルから中学生が暴行を受けた事件や掲示板での脅迫等が今年になって発生している。中学校の先生は危機意識を持っているが、小学校の先生は中学校と比較すると意識の面でかなりギャップがあるというのが現状であり、まず危機意識を持っていただく意味で通知している。携帯電話やインターネットに限らず、生活していく上でのエチケットも含め、県、青少年課、指導課等と連携しながら指導していきたい、と回答

青少年課長が

青少年問題協議会において、インターネット・携帯電話等を巡るトラブルから青少年をどう守るかについて協議している。また、様々なサイトを取り上げた番組を作成し、小中学校長に現在起こっている問題を映像でお知らせしており、いくつかの中学校では県警の

サイバー犯罪担当者による生徒向け、保護者向けの研修会を開催する予定と聞いている。さらに、広報課に中学校へ取材に行ってください、ケーブルテレビや広報習志野でこの問題を取り上げていただく予定となっているなど、啓発活動に取り組んでいる、と回答

委員が

報道されている問題は氷山の一角で、現実には子ども達の間で蔓延しているのではないかと。各学校でそのような問題を抱えている子ども達がどれくらいいるのか把握していただき、問題の解決に向け迅速な対応をお願いしたい、と要望

委員が

「地域の風が行きかう学校づくりの充実」、「確かな学力の充実・向上を図る教育の推進」、「豊かな人間性を育む体験学習の充実」、「子ども達の健康増進及び体力向上の推進」、「いじめ、不登校の未然防止・解消を目指した教育の推進」という本市教育委員会の5つ教育課題に関するアンケートの集計結果について、この5つの課題の中で「出来ている」という割合が一番低いのが「確かな学力の充実・向上を図る教育の推進」である。この結果について、教育委員会としてどのような見解をもっているのか、と質問

指導課長が

各校とも子ども達の学力向上に取り組んでいただいているが、なかなか成果が上がっていないことからそのような回答になっているように思う。文部科学省の学力状況調査の結果を分析し、子ども達の学力を向上させるための手立てを具体的に考え、授業に生かしていくよう、学校計画訪問の際には必ず話をしている。また、教科領域主任研修会で講師が具体的な指導をする中で、教員の授業力向上を図っている、と回答

委員が

学力状況調査の結果では、本市は全国平均を上回っているとのことであるが、今後も指導方法の工夫・改善と更なる学力の向上をお願いしたい、と要望

<議案第21号は非公開>

**議案第21号 平成20年度教科用図書葛南東部採択地区協議会委員の選任について**  
(指導課)

指導課長が

平成20年度教科用図書葛南東部採択地区協議会委員の選任について説明

委員長が質疑なしと認め、採決の結果、議案第21号は全員賛成で原案通り可決された。

委員長が

平成20年習志野市教育委員会第6回定例会の閉会を宣言